

令和7年度仙台市図書館事業報告書

～仙台市図書館振興計画 2022 に基づく事業の実施状況～

令和8年●月

教育局市民図書館

目 次

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1)生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます…… 1
 - 【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】
 - 【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】
 - 【各種イベントのオンライン開催等非来館型サービスの研究】
- (2)課題解決に取り組む市民の学びをサポートします…………… 2
 - 【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】
 - 【レファレンスサービスの充実・周知】
 - 【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】
- (3)地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します…………… 3
 - 【地域情報の蓄積・継承・発信】
 - 【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】
 - 【東日本大震災の記録と教訓の伝承】
- (4)多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します…………… 5
 - 【大学等教育機関との連携】
 - 【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します…………… 6
 - 【妊娠期の親への読書支援の推進】
 - 【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり】
 - 【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】
- (2)障害のあるこどものニーズに応じたサービスを提供します…………… 7
 - 【障害のあるこどもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】
 - 【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】
- (3)ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します…………… 7
 - 【中高生の主体的な読書活動のサポート】
 - 【SNS等を活用した広報の推進】
 - 【YAコーナー、YA向けコンテンツの充実】

- (4) 学校との連携を推進し、こどもの読書環境、学習環境の向上を支援します…… 9
【オンラインを活用した学校連携】
【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】
- (5) 家庭・地域等と連携し、こどもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます
…… 10
【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】
【こどもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】
【こどもの心を育み、居場所となる取組】

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます…… 13
【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】
【移動図書館の安定的なサービス】
【電子図書館等オンラインサービスの推進】
- (2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します…… 14
【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】
【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】
【国際化社会に対応したサービスの充実】
- (3) ICT 環境の進展等社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します…… 15
【電子媒体を活用した発信の強化／利用者の IT リテラシーに合わせたサポートの強化】

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

- (1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します…… 16
【計画的な資料の収集・保存・活用】
【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】
- (2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます…… 16
【市民協働事業や広報の促進】
【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】
- (3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します…… 17
【安定的なサービス提供のための課題解決】
【来館型・非来館型サービスの適正な運用】
【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います……………	18
【数値的成果指標の図書館サービス向上への活用】	
【市民による評価や意見の活用】	
(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます……………	18
【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】	
総括……………	20
仙台市図書館協議会の意見……………	21

凡例

新規	…新しく行った取組み
拡充	…これまでの取組みを拡充
重点	…重点事業と位置付けた取組み

※法令・条例等の固有名称等以外は「こども」の表記に統一しています。

◆令和7年度の重点的な取組み◆

方向性1 関係機関との連携による、地域の魅力の効果的な発信と市民の学びのサポート

関係機関との連携を進め、資料展示やイベント開催等、あらゆる世代が多様な資料と出会う機会の創出と、地域の魅力や様々な情報の効果的な発信に取り組むことで、市民の学びの場の充実を図る。

方向性2 乳幼児からY A世代を対象とした読書に親しむ機会の提供

ボランティアや学校等、多様な主体との連携により、絵本等を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりや、家読など家庭での読書活動を進めるほか、学校連携事業やY A世代の読書活動の取組みを推進する。

方向性3 誰もが利用しやすい図書館サービスの推進

移動図書館車の活用等によるアウトリーチ事業の拡充や、電子図書館の利用促進を図るとともに、年齢や障害の有無、言語の違い等にかかわらず、誰もが利用しやすい図書館サービスの推進と広報に取り組む。

方向性4 図書館資源の活用及び職員の資質と専門性の向上

成長を続ける図書館をめざし、図書館振興計画の中間見直し、指定管理者制度の活用、サービス向上に資する図書館システムの検討と施設の長寿命化に取り組む。また、研修等によりさらなる職員の資質と専門性の向上を図る。

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

施策(1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます

【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】

人生 100 年時代を踏まえ、あらゆる世代の学びを日常的に支える資料を収集・提供するとともに、様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料案内や各種ブックリスト等の発行、展示等を継続して実施した。また、新しく市民となった方にも図書館を利用してもらえるように、各区役所・総合支所と連携し、市外からの転入者に図書館利用案内を配布した。

○資料の収集・提供

(速報値)

	令和 6 年度	令和7年度
資料受入数(冊・点)	53,817	50,140
所蔵数(冊・点)	2,088,584	2,077,204
個人利用者数(人)	1,437,411	1,486,574
個人貸出数(冊・点)	4,070,279	4,159,870

※所蔵数は雑誌・新聞を除く、各年度末時点の数。

※所蔵数・個人貸出数は電子書籍を含む。

○資料案内・ブックリスト等の発行

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新着案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「推し本！」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉) 「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに—」(泉)
児童向け図書案内	「うちどくにおすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 「35 年以上読み継がれた絵本」 「大型絵本リスト」 「大型紙芝居リスト」 「触る絵本リスト」 「LLブックリスト」(いずれも全館) ほか 各館で新着図書案内やテーマ別図書案内等を発行
中高生向け図書案内	『いじめ・命』に向き合う本のリスト」(全館) 「10 代のためのこころのサブリ」(全館) 「星屑書録」(広瀬) 「YAnews」(広瀬) 「YA・夏のおススメ本リスト」(広瀬) 「学習応援本」(宮城野) 「つつじがおか図書館発 YA ブック Journey」(榴岡) 「Young Woods」(若林) 「すばろーずペーパー」(泉) 「BOOK LIST 2025」(泉)
新着視聴覚資料案内	「AV新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「若林図書館新着AV資料案内」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「YA瓦版」(全館) 「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「てとてといずみ」(泉)
その他	「仙台市職員研修のための図書案内」(市民) 「外国語資料あんない」(在住外国人向け)(市民) 「新着大活字本リスト」(広瀬) 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(榴岡・泉) 「大活字本受入リスト」(泉)

○テーマ別展示・企画展示等の実施

主な内容	実施館
毎月のテーマ展示のほか、季節や時事に関連した資料の展示コーナーを設置	全館
「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置	全館
春と秋のこども読書フェスティバル期間中に「こどもの本の展示会」を実施	全館
職員が各々にテーマを設定して実施する資料展示コーナー「広瀬図書館スタッフの MY 本棚」を設置	広瀬
各種文学賞や博物館の企画展に関連付けた常設のテーマ展示コーナーを設置 新規	広瀬

【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】 **重点**

市民が知的活動に集中できる「書斎」としての機能を持たせつつ、資料と人、人と人が交流できる「広場」の形成をめざし、各館で様々なイベントを開催した。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の福袋、おみくじBOOK、福本、覆面展示、ふくBOOKろ、年末おたのしみ袋、歳末わくわく本	年代別、テーマ別等に図書館員が選んだ資料を福袋(パッケージ)にしたり、本の表紙が見えないようにカバーをかけて展示・貸出	全館
大人が楽しむおはなし会	大人を対象とした絵本の読み聞かせ	市民・太白・泉
ライブラリアフターアワーズ 「光のページェント音楽会」	閉館後の図書館を活用したマリンバとピアノによる演奏会	市民
5歳児むし歯予防絵画展 (会場提供)	入賞作品 105 点を図書館内の壁面に展示 (主催:健康福祉局健康政策課)	市民
製本ワークショップ	手製本の手法でオリジナル手帳を作成	広瀬
DVD上映会、映画上映会	こどもから大人まで幅広い世代向けの上映会 (関連資料の展示やミニブックトークも一部実施あり)	広瀬・宮城野・若林・太白・泉
榴岡にぎわいワークショップ「日本の伝統文化『落語』を楽しもう」 新規	東北大学学友会落語研究部による落語の実演 (連携:生涯学習支援センター)	榴岡
ブックトレード／出張ブックトレード	自分が読み終えた本を持参し、別の人が持参した本と交換する 「本の交換市」/地域のイベントに合わせて図書館外でも実施	榴岡・若林
ほんのトーク	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽にしゃべりするトークイベント	太白
イマカラ・イマダカラ読書会 新規	今から、今だから大人が読みたい児童書を取り上げる課題書型の読書会	太白

【各種イベントのオンライン開催等非来館型サービスの研究】

災害や感染症の流行等非常時を見据えた図書館サービスのあり方として、読み聞かせのオンライン開催や、電子図書館のコンテンツの充実、電子雑誌閲覧サービスの継続実施等、非来館型サービスを推進した。

○主な実績

- ・おうちで楽しむオンラインおはなし会(若林) 実施回数・参加者数 2回・7人 (令和6年度 2回・40人)
- ・電子図書館総資料数(コンテンツ数) 4,271点 (令和6年度末 4,183点)

施策(2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします

【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】

持続可能な社会づくりに向け、SDGsに対する理解の普及をめざし、関連資料の展示やSDGsに関連した事業を実施し、図書館ホームページやXによる情報発信を行った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
SENDAI SDGsWeek 2025 ～新たな習慣で、幸せな仙台づくり～	SDGsWeekの期間に合わせて関連図書の展示、ポスター・POPの掲示、リーフレットの配布等を随時実施	全館
	青葉山公園で開催された「しゅみ活フェス！」に移動図書館車「わかくさ号」をブース出展し、関連図書の展示・貸出を実施	市民・移動
企画展示「ころもからだも健康に」	SDGsのGOAL3の目標に合わせて企画展示を実施	榴岡
映画上映会	SDGsへの理解を深める内容のドキュメンタリー映画「巡る、カカオ／神のフルーツに魅せられた日本人」を上映	若林

【レファレンスサービスの充実・周知】

専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」や各種データベースによる資料・情報提供を全館で行った。また、レファレンス事例集「本の道案内」やパスファインダー（調べ方ガイド）の館内配置とホームページへの掲載により、レファレンスサービスの充実・周知に努めた。

○主な実績

- ・レファレンス件数 41,009 件（令和 6 年度 38,260 件）
- ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」利用件数 100 件（令和 6 年度 91 件）

○各館の主な事業

事業内容	実施館
国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例の登録を継続して実施	全館
レファレンス事例集「本の道案内」vol.9 を新規作成し、館内配置及びホームページへの掲載を継続して実施	全館
パスファインダー（調べ方ガイド）（No.1～71）の館内配置及びホームページへの掲載を継続して実施	全館

【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】 **重点**

地域の特性を踏まえ、関係機関や各種団体と連携し、講座やセミナーの開催、図書館資料・リーフレット等の展示や啓発ポスターの掲示等を実施した。

○各館の主な事業

事業内容	連携先	実施館
テーマに基づいて、啓発物や図書館資料を展示 「再犯防止啓発月間」「熱中症予防」「禁煙」「食育推進月間」「健康増進普及月間・食生活改善普及運動」「歯と口腔の健康づくり月間」「世界エイズデー」「食中毒予防普及・啓発運動」「自殺対策強化月間」「市民健診」「火災予防週間」「暮らしのすぐそばにある毒」等	社会課・各区保健福祉センター 管理課・家庭健康課・衛生課・障害高齢課・宮城総合支所保健福祉課・宮城野消防署・東北農政局	市民・広瀬・宮城野・若林・太白・泉
市民講座「新しい認知症観について知ろう」を開催 新規	宮城野区障害高齢課	宮城野
仙台 89ers からの寄贈絵本の展示、チームの黄援コーナーを設置	仙台 89ers	太白
「創業支援ライブラリーセミナー＆交流会」の開催と関連資料の展示	日本政策金融公庫仙台支店	泉
法テラス宮城・泉図書館連携講座「遺言書を書こう～遺言の種類と仕方について～」の開催と関連資料の展示	法テラス宮城	泉
グッズやサインの展示、試合の日程・結果の表示、サッカー関連の図書や雑誌の展示を行うベガルタ仙台コーナーを設置	ベガルタ仙台	泉

施策(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します

【地域情報の蓄積・継承・発信】

市民の協力を得て地域資料の収集・提供に継続して努めたほか、郷土史をテーマにした地域の歴史や魅力を発掘し、継承するための事業を開催した。また、せんだい電子図書館では、仙台の郷土資料を収集し、トップページに専用バナーを設ける等、地域の特性を踏まえた運営に取り組んだ。

○主な実績

- ・郷土資料受入数 1,418 冊（令和 6 年度 1,381 冊） ※うち寄贈による受入数 819 冊（令和 6 年度 925 冊）
- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・行政資料 196 点・79 点（令和 6 年度末 167 点・56 点）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
市民図書館郷土史講座「昭和 100 年メモリアル センダイ・タイムマシン」	昭和以降に市内で撮影された定点写真を基に風景の移り変わりを見ていく講座	市民
ライブラリーアフターアワーズ「ともに前へ！伊達武将隊奮闘記」	児童文学作家・佐々木ひとみ氏が聞き手となり、伊達武将隊が結成 15 年の歩みを語る講演	市民
ひろせアーカイブ	地域にまつわる記憶や思い出を詩やエッセイ等の形式で募集する「思い出アーカイブ」、地域性のある写真を集めた「ジモト写真館」等、地域の情報や記憶を収集・保存・共有・継承するデジタルアーカイブ事業	広瀬
東口界限まち歩き	ガイドボランティアと協働で、宮城野地区にゆかりのある歌碑タイルや、榴岡天満宮などを巡るまち歩き	榴岡
読書サロン 地域再発見～みやぎの魅力に出会う～ 新規	ゲストによる地域の様子や課題本についての紹介と、参加者らの感想をまじえたフリートーク	若林
泉図書館郷土史連続講座「泉区の魅力再発見」 新規	郷土史研究家 2 名による泉区の歴史や文化を学ぶ連続講座と関連資料の展示	泉

【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】**重点**

地域情報を有する専門機関等と連携し、地域の魅力を再発見できるようなイベントを開催したほか、継続して地域ゆかりの作家に関する資料の収集に努めた。

○各館の主な事業

事業名	連携先	実施館
博物館・図書館連携講座「転生したらこうなった!？」	仙台市博物館	市民
市民図書館郷土史講座「タウン誌から見る仙台～懐かしい街、店、ブームを制作ウラ話と共に振り返る～ 新規	プレスアート	市民
歴史民俗資料館連携事業「竹と仙台のくらし」	仙台市歴史民俗資料館	榴岡
農業連携事業「身近な有毒植物のおはなし」	東北農政局	若林
薬師堂探訪～陸奥国分寺を訪ねて～	仙台市文化財課、陸奥国分寺薬師堂 ガイドボランティア会	若林

【東日本大震災の記録と教訓の伝承】

東日本大震災の関連資料や情報を継続的に収集し、震災を語り継ぐため市民図書館に設けた「3.11 震災文庫」及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。また、仙台市政だよりで震災文庫の資料を紹介する「3.11 震災文庫を読む」の連載や、せんだい 3.11 メモリアル交流館での資料の展示等を継続して行うほか、展示資料を貸出できるように、新たに資料のデータ整備を行った。

○主な実績

- ・「3.11 震災文庫」市民図書館開架所蔵数 15,150 点（令和 6 年度末 14,726 点）
- ・電子図書館コンテンツ数 震災資料 126 点（令和 6 年度末 126 点）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
震災関連資料展示	東日本大震災をテーマにした資料展示等	市民・宮城野・榴岡・若林・太白・泉
3.11 震災文庫を読む	仙台市政だより「3.11 震災文庫を読む」を掲載（計 8 回）、 仙台市図書館ホームページによる発信	市民
仙台防災未来フォーラム 2026 出展	せんだい電子図書館の「3.11 震災文庫」の電子書籍を読む体験会、東日本大震災を特集した雑誌の展示	市民
震災関連事業・映画上映会	ドキュメンタリー映画「たゆたえども沈まず」の上映	若林

施策(4) 多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します

【大学等教育機関との連携】

宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施するとともに、利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況の確認や紹介状の発行を行った。また、インターンシップ受入による人材育成や、市内大学等で出前講座等を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
インターンシップ受入(東北福祉大学・宮城学院女子大学)	市民・榴岡
施設見学(東北学院大学・宮城学院女子大学・仙台大学)	市民・太白・泉
授業等への講師派遣(仙台北百合女子大学・仙台青葉学院短期大学・聖和学園短期大学・東北学院大学・東北生活文化大学短期大学部・東北文化学園大学・宮城学院女子大学)	市民・榴岡・若林・泉
仙台高等専門学校との連携により小学生を対象とした科学工作会を開催	広瀬
仙台高等専門学校の「高専祭」の「古本市」に広報や不要本回収で協力	広瀬

【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】

市民の多様な学びをサポートするため、市民センター等との連携による各種講座の開催や、ボランティア活動を推進するための取り組みを行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループ「まほうの手」による手話を使ったおはなし会を実施	市民
生涯学習課主催の「楽学プロジェクト」で保護者向けの出前ブックトークを実施	市民
せんだいメディアテークで開催された展覧会「もうひとつの森『なにもしない』からはじめるメディアテーク」会場内に展示する資料を提供。また、図書館内で関連展示に協力 ^{新規}	市民
杜宙実行委員会主催の「仙台コズミックフェスタ」の会場内に展示する資料を提供。また、コラボ企画としてクイズ用紙を図書館内に設置	市民
広瀬市民センターが主催する各種講座の開催に合わせ、講座会場内での資料展示やミニブックリストを配布	広瀬
市民センター主催の市民センター図書ボランティア向け講座・研修会に講師を派遣	市民・広瀬・榴岡・太白・泉
生涯学習支援センターで開催された講座や研修等で、資料展示や出張ブックトレードを実施（再掲）	榴岡
生涯学習支援センターで開催された「まちなか発表会～秋のロビーコンサート～」で絵本の読み聞かせを実施	榴岡
荒町市民センター主催の参加型講座「読書の世界へようこそ」に講師を派遣 ^{新規}	若林
太白区中央市民センター主催の「ながまち老壮大学文化教養コース」に展示資料を提供 ^{新規}	太白
泉おはなしの会との共催による「語りの講座」を開催	泉

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

施策(1) 乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します

【妊娠期の親への読書支援の推進】

読書によってマタニティライフを楽しめるよう、ブックリストの発行や、親がこどものために本を手取るきっかけづくりのため、妊娠期の親を対象としたイベント等を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
みやぎ親子読書をすすめる会の協力により、絵本の読み聞かせ、わらべうた、本の紹介、参加者同士の交流を促す「マタニティおはなし会」を開催	泉
「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに……」を発行(再掲)	泉

【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりの推進】 **重点**

各種おはなし会について、ボランティア団体等と連携しながら継続して実施し、読み聞かせの大切さを伝えた。また、乳幼児と保護者がコミュニケーションを深められるようなイベントを開催する等、乳幼児から読書に親しめるような機会を創出した。

○主な実績

- ・乳幼児向けおはなし会 実施回数・参加者数 250回・3,183人 (令和6年度 244回・3,143人)
- ・幼児向けおはなし会(幼児～小学校低学年対象)
実施回数・参加者数 542回・6,409人 (令和6年度 494回・6,011人)
- ・乳幼児及び保護者向けの事業 実施回数・参加者数 24回・489人 (令和6年度 19回・252人)
- ・小学生向けおはなし会 実施回数・参加者数 18回・307人 (令和6年度 15回・274人)
- ・読書活動推進ボランティアの延べ人数 1,209人 (令和6年度 1,217人)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば	せんだいメディアテークオープンスクエアを会場として、乳幼児とその家族、妊娠中の方を対象としたボランティアによるおはなし会や赤ちゃんのためのわらべうた、文庫によるふれあいタイム、栄養士による栄養食事相談等	全館連携
親子向け実践講座「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた」	0歳児の赤ちゃんと保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、わらべうた、おすすめの絵本の紹介、絵本やわらべうたを介した赤ちゃんとのふれあい方のお話	全館
はじめよう！ベビーサイン	日本ベビーサイン協会認定講師によるベビーサイン体験会	広瀬
出張おはなし会、出前おはなし会	子育てふれあいプラザ「のびすく」や児童館、保育所、市民センター等を会場として、乳幼児親子を対象とした絵本の読み聞かせ、わらべうた等	全館
ウェルカムひろば	乳幼児とその保護者を対象に交流の場を設け、育児相談や子育てに関する情報提供、児童書の紹介等を実施(宮城野区中央市民センター、宮城野区家庭健康課、原町児童館(のびすく宮城野)等と共催)	宮城野
子育て応援プロジェクト「家族みんなのふれあい広場」	乳幼児とその家族、祖父母を対象としたふれあい遊び、赤ちゃんヨガ、ベビーマッサージ	榴岡
榴岡にぎわいワークショップ「すくすく子育てはじめのいっぽ～ずっと良い親子関係を築くために～」 新規	子育てがラクになる声かけ講座と手作りおもちゃのワークショップ(連携:生涯学習支援センター)	榴岡

【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】

団体貸出やこども読書支援パックの貸出、テーマ別リストの作成、各種講座等の開催のほか、除籍本を無償譲渡する等、保育所等での読書活動の支援を行った。

○主な実績

- ・こども読書支援パック(69 種類 183 パック)の貸出数
保育所・幼稚園・児童館等 191 件 (令和 6 年度 152 件)
ボランティア団体・個人 156 件 (令和 6 年度 162 件)
- ・除籍本有効活用無償譲渡会提供先・提供数
保育所等 18 施設・957 冊 (令和 6 年度 19 施設・1,071 冊)

○各館の主な事業

- ・保育施設のこどもたちの施設見学の受入、絵本の読み聞かせ等を実施 (広瀬・泉)

施策(2) 障害のあるこどものニーズに応じたサービスを提供します

【障害のあるこどもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】

障害のあるこどもをサポートするため、各館に拡大読書器等を設置するとともに、触る絵本や点字付き絵本等の収集・貸出を継続して行った。また、電子図書館での音声読み上げ機能の付いた電子書籍の提供や、こどものためのアクセシブルな資料を集めた「りんごの棚」を常設し、障害のあるこどもが利用しやすい読書環境の整備に努めた。

○主な取組み

- ・触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のあるこどもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集を行った。また、触る絵本等の所蔵リストを各館で配布するとともに、ホームページ等での公開を継続して行った。
- ・マルチメディアデジ資料の貸出を継続して行った。
- ・せんだい電子図書館に音声読み上げ機能の付いたコンテンツを用意し、トップページに専用バナー「うごくえほん」を設け、利用しやすいよう配慮した。
- ・こどものためのアクセシブルな資料を集めた「りんごの棚」を全館に設置した。**拡充**
- ・読書を補助する道具「リーディングトラッカー」を設置した。(泉)**新規**

【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】

特別支援学校・学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。また、特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布する等広報に努めた。さらに、手話を使ったおはなし会等、障害のあるこどもが参加しやすいイベントを実施した。

○主な実績

- ・特別支援学校・学級専用資料の貸出
貸出回数、貸出冊・点数 86 回、4,087 冊・点 (令和 6 年度 79 回、3,614 冊・点)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
手ではなすおはなしの会(再掲)	せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループ「まほうの手」による手話を使ったおはなし会	市民
手話でも 1 冊おはなし会	定例のおはなし会の中で、一冊だけ手話を使った読み聞かせを実施	市民
手話でおはなし会	手話の説明や絵本の読み聞かせ、手遊び等を音声と手話で同時に実施	宮城野
手話でたのしい！おはなし会 新規	ボランティアグループ「まほうの手お出かけ隊」による手話を使ったおはなし会	泉

施策(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します

【中高生の主体的な読書活動のサポート】 **重点**

図書館サポーター等中高生が主体的に活動できる機会づくりに努め、中高生によるおすすめ本のリスト作成や選書支援等を継続して実施した。また、中学校や高等学校と連携し、ヤングアダルト世代の読書活動や学習活動の支援を行った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
みんなのおススメの本を教えて	図書館に投稿された、中高生のおススメの本の紹介文をホームページや展示で活用(投稿数 157 件)	全館
仙台中高生読書盛り上げ隊 ^{新規}	市内在住・市内通学の中高生を募集し、POP 作成や中高生世代向けのイベントを図書館と協働して企画・運営(全7回)	全館連携
本の沼へようこそ～本好きの中高生による本を読まない交流会～ ^{新規}	仙台中高生読書盛り上げ隊が企画したイベントを実施 「図書館人狼」「ブックバスケット」「しおり作りのワークショップ」	市民・泉
中学校・高等学校との連携展示	中・高校生が作成したおすすめの本のPOPや紹介文をYAコーナーに展示	市民・宮城野 太白・泉
本の福袋(再掲)	仙台南高等学校の図書委員と連携し、幼児から小学生向けの福袋を作成し貸出	市民
選書アドバイザー会議	中高生世代がYA向け図書の選書支援や 10 代向けブックリストの作成を通じて、図書館作りに参加	広瀬
YAコーナー選書支援アンケート	選書アドバイザー会議での選書支援の参考とするために、中・高校生、保護者を対象とした読書ニーズの把握のためのアンケート調査	広瀬
ひろせしゃべぐる BOOKS	「BOOK PARTY 本を使って遊んじゃおう!」のテーマで 10 代を対象とした読書会。ボードゲームをプレイしながら、参加者同士が本を通して交流	広瀬
学習スペース開放事業 ^{新規}	おもに YA 世代の学習を目的とした居場所づくりのため、視聴覚室や研修室を開放	宮城野・ 若林・泉
図書館 Jr.サポーター	活動したいときに参加できて図書館業務全般を体験できるボランティア活動(再掲)	榴岡
榴岡にぎわいワークショップ「『カードを使って Meets the JOB～職業診断してみませんか～』」	自分に向いている仕事を見つけ、将来の進路選択に役立てる講座(連携:ハローワーク仙台、生涯学習支援センター)	榴岡
オリジナルブックカバーを作ろう	五城中学校の生徒からブックカバーデザインを募集し、図書館・学校での展示や利用者から感想を募るほか、ブックカバーとして印刷し学校と図書館で配布(再掲)	榴岡
SPECIAL おはなし会 ^{新規}	常盤木学園高等学校の有志の生徒による絵本の読み聞かせ(全5回)(再掲)	榴岡
POP を作っておすすめの本を紹介しよう! ^{新規}	五橋中学校の図書委員を対象に、効果的な POP 作りについて講話を行ったあと、作成した POP の講評と展示方法を紹介(全2回)	榴岡
榴岡にぎわいワークショップ「手話で絵本を読んでみよう!」 ^{新規}	手話で自己紹介を学んだ後、グループに分かれて全員で一冊の絵本を手話で表現するおはなし会(連携:生涯学習支援センター)	榴岡
図書館YAサポーター・としよ部	YA通信に掲載する本の選書・紹介文の作成、福袋の作成、本の修理、返却本の配架作業、本の展示	若林
なるには講座「手話通訳者ってどんな仕事?」	宮城県聴覚障害者情報センター職員を講師とした手話通訳者の仕事内容や意義に関する講話と簡単な手話教室	若林
ビブリオバトルイベント 2025	中高生によるビブリオバトル。YAコーナーでイベントの様子やチャンプ本を紹介・展示	太白
泉図書館YA図書委員会	図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「BOOK LIST2025」の作成・本の展示、ビブリオバトル参加、イベントスタッフ体験等	泉
やってみようビブリオバトル 2025	ビブリオバトルの体験イベント(連携:のびすく泉中央)	泉

【SNS 等を活用した広報の推進】

図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」やXに、ヤングアダルト向けイベント情報や司書及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載するほか、各館のYAコーナー紹介、YA通信等をホームページに掲載し、情報発信を継続的に行った。また、『いじめ・命』に向き合う本のリストを改訂し、「10代のためのこころのサブリ」とあわせてホームページに掲載するとともに、市立中学校・高等学校にデータ配信した。

○新1年生への利用案内配信・配布実績

- ・中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にこうよ！」
配信校数 84校（令和6年度配布校数・枚数 84校・9,626枚）
- ・高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」
配信校数 51校（令和6年度配布校数・枚数 49校・11,498枚）

【YAコーナー、YA向けコンテンツの充実】

各館にヤングアダルト(YA)コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。また、電子図書館のYA向け電子書籍の充実を図るとともに、トップページに「ヤングアダルトYA文庫」バナーを設け、利用促進に努めた。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の福袋、年末おたのしみ袋、おみくじBOOK（再掲）	テーマ別に図書館員が選んだ資料を福袋（パッケージ）にしたり、本の表紙が見えないようにカバーをかけて展示・貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
展示コーナーの設置	「10代のためのこころのサブリ」掲載本やヤングアダルト向け新着・テーマ別図書案内のテーマに沿った図書を展示	全館

施策(4) 学校との連携を推進し、こどもの読書環境、学習環境の向上を支援します

【オンラインを活用した学校連携】

個人の利用者カードを持っていない児童・生徒でも、タブレット端末を使用して、朝読書等の活動で電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与するとともに、教職員向けの「利用の手引き」を学校向けグループウェアで配信し、周知を図った。また、学校向けグループウェアを通して学習に活用できるように、テーマに合わせたコンテンツを紹介した。

○主な実績

- ・特別利用IDの送付先 市立小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校

【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】

公共図書館利用学習への支援や小中学生の職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施した。また、引き続き学校貸出サービス・図書配送サービスを行い、こどもの学年に応じた利用しやすい形で資料の提供を行うとともに、多種多様な本に触れられる機会の充実に努めた。

○主な実績

- ・小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」の配布
配布校数・配布枚数 135校・9,266枚（令和6年度 135校・10,350枚）
- ・来館した児童への「ようこそシール」の配布 配布枚数 513枚（令和6年度 547枚）
- ・小学校1年生向け「りようしゃカードひきかえけん」の配布
配布校数・配布枚数 135校・9,266枚（令和6年度 135校・10,350枚）
利用者カード発行数 464枚（令和6年度 542枚）
- ・学校貸出サービス 延べ貸出回数 663回（令和6年度 628回）
＜内訳＞
 - パッケージ貸出:延べ貸出回数 117回（令和6年度 130回）

➤ 授業用図書貸出、ブックトーク貸出、高等学校向け学校貸出:

貸出回数・貸出冊数 460 回・18,815 冊 (令和 6 年度 419 回・17,947 冊)

➤ 特別支援学校、学級専用貸出:

貸出回数、貸出冊・点数 86 回、4,087 冊・点 (令和 6 年度 79 回、3,614 冊・点) (再掲)

- ・図書配送サービス 利用校数・利用回数 158 校・1,053 回 (令和 6 年度 151 校・●回)
- ・公共図書館利用学習 (図書館見学、調べ学習) 受入校 延べ 76 校 (令和 6 年度 延べ 68 校)
- ・小中高校生の職場見学・体験学習等受入校 (杜のひろば含む) 延べ 44 校 (令和 6 年度 延べ 37 校)
- ・図書館職員による小中学校へのブックトーク利用校 129 校 (令和 6 年度 128 校)
- ・ボランティアによる小中学校、児童館へのブックトーク利用校 24 校 (団体)・40 回 (令和 6 年度 30 校 (団体)・60 回)
- ・除籍本有効活用無償譲渡会 (小学校・施設) 提供数 16 校・1,308 冊、1 施設・78 冊 (令和 6 年度 11 校・1,092 冊、1 施設・103 冊)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
出前授業	北仙台小学校 2 年生を対象に、図書館の利用についての出前授業とブックトークを実施	泉
移動図書館学習会	小学校に出向き、移動図書館を学ぶ学習会を実施 (福岡小学校)	移動

施策(5) 家庭・地域等と連携し、こどもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます

【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】重点

子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会の実施や、児童館等主催のこども読書事業へ図書館職員を派遣する等、地域の子育て関連施設等と連携し、様々な機会を通じた家庭での読書習慣のきっかけづくりを行った。また、家読(うちどく)におすすめの本のリストを改訂し、秋のこども読書フェスティバルこどもの本の展示会において、全館で特集展示やリストの配布を行うとともに、ホームページに掲載して情報発信した。

○主な実績

- ・子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会
実施回数・参加者数 30 回・776 人 (令和 6 年度 47 回・988 人)
- ・児童館等主催こども読書活動事業への図書館職員派遣 派遣件数 15 件 (令和 6 年度 13 件)
- ・家庭文庫・地域文庫への資料貸出 文庫登録数・貸出冊数 18 団体・1,821 冊 (令和 6 年度 18 団体・2,027 冊)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
出張おはなし会、出前おはなし会 (再掲)	のびすくや児童館、保育所、市民センター等での絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	全館
おはなしのへや	宮城地区まつりに参加してのおはなし会	広瀬
ひろせの森へクリスマスワークショップ	広瀬文化センター及び広瀬市民センターと連携した、万華鏡作りのワークショップ、図書館職員によるおはなし会	広瀬
防火のおはなし会	職員による絵本の読み聞かせと宮城野消防署の職員による防火に関するクイズ等のおはなし会	宮城野
パパたいむ「こどもの心を豊かに育てるパパの絵本講座&健康講座」	パパを対象に、絵本の読み聞かせのポイントや選書についてのアドバイスや講話 (主催: のびすく宮城野)	榴岡
ヤギさんおはなしかい	月 1 回行われる新寺こみち市会場での出前おはなし会	若林
日曜おはなし会	若林区民まつりに参加し、中高生ボランティア等によるおはなし会	若林

【こどもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】

図書館全館において、春・秋のこども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やこどもの本の展示会等によりこどもが本に親しむための機会とするとともに、家庭・地域への情報提供等を行った。また、自書式読書通帳の配布を継続して行うとともに、職員が学校に訪問する際にも持参して配布する等、こどもが継続して読書に親しめるような取組を行った。

○主な実績

- ・春・秋のこども読書フェスティバル
 - 「読書の木花いっぱいになぁ〜れ」 参加人数 9,251 人（令和 6 年度 8,397 人）
 - 「ラッキーブックをさがそう！」 参加人数 10,443 人（令和 6 年度 10,455 人）
- ・児童文学者講演会「絵本作家 三浦太郎氏ワークショップ『三浦太郎さんと紙の街をつくろう！』」
 - 参加人数 68 人（令和 6 年度 111 人）
- ・読書通帳配布と 1 冊終了ごとに認定シールの貼付
 - 読書通帳配布数 15,846 枚（令和 6 年度 17,495 枚）
 - 認定シール配布数 488 枚（令和 6 年度 535 枚）
- ・読み聞かせやストーリーテリング等、こども読書に関する研修・講座
 - 実施件数・参加者数 6 件・157 人（令和 6 年度 6 件・154 人）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
特別おはなし会、スペシャルおはなし会、かくだいおはなし会等	季節やテーマを設けた特別なおはなし会を開催 こわ〜いおはなし会、えいごによるおはなし会、紙芝居おはなし会、防災おはなし会等	全館
河北新報社への原稿提供	「こども新聞週刊かほピョンプレス」（毎週日曜発行）に「本のプロ推しの一冊」として、おすすめの本を紹介	全館
	河北新報（夕刊）に「出かけよう本の旅へ」としてテーマ別のおすすめ本を紹介	市民・泉
本の福袋、年末おたのしみ袋（再掲）	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋（パッケージ）にして貸出	市民・広瀬・宮城野 榴岡・若林・泉
おはなし会リレー	広瀬図書館まつりでの「あったかほっこり」をテーマとしたボランティア団体と職員によるリレー形式のおはなし会	広瀬
こども天文教室「宇宙はおなかペコペコ？『食』のおはなし」	天文台の職員を講師に招き、宇宙で起こる「食」をテーマとする講話と講師のおすすめ本等を掲載したブックリストの作成・配付、関連資料の展示（連携：仙台市天文台）	広瀬
世界KAMISHIBAIの日紙芝居リレー	世界KAMISHIBAIの日になみ、紙芝居をリレー形式で実施（主催：紙芝居文化の会みやぎ）	宮城野・若林・泉
ぬいぐるみおとまり会	ぬいぐるみと一緒におはなし会に参加した後、ぬいぐるみを預かり、館内で過ごす様子を撮影。写真をプレゼントしたりぬいぐるみが選んだ本として貸出（宮城野は主催：宮城野区中央市民センター）	宮城野・若林
こども図書室おはなしかいりレー	ボランティア 6 団体によるリレー形式のおはなし会	泉

【こどもの心を育み、居場所となる取組】

夏休み等の長期休暇を利用した体験型イベントの開催や、こども図書室を核とした事業等、こどもの読書活動を支える取組を行った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
家族で楽しむ図書館探検、体験！図書館員になろう！、秋の小学生図書館探検等	小学生を対象としたブックポスト、書庫等図書館の裏側見学、お仕事体験、バックヤードツアー等	市民・広瀬・太白
夏のわくわく映画館	「やさしいきもち」をテーマとした映画上映、絵本の読み聞かせ (主催:生涯学習課、協力:仙台視聴覚同好会)	市民
こどもお楽しみ映画会、DVD上映会、こども映画上映会等	こども向け映画の上映会	広瀬・宮城野・若林・太白・泉
ひろせ読書スタンプラリー	本の貸出時に1日1個のスタンプがもらえるスタンプカードを配布し、スタンプを6個集めた参加者に記念品を進呈	広瀬
なぞときチャレンジ-暗号をといてさがしてね-	暗号を解いて答えの本にたどり着くと、本の中に入っている「謎解き証」をプレゼント	宮城野
おうちでこうさくきょうしつ	こどもたちに自宅で作れる工作キットを館内や原町児童館で配布し、家で作って図書館に持ってきてくれた作品を館内に展示	宮城野
夏休み読書スタンプラリー	本の貸出時に1日1回くじを引き、出た数だけスタンプをもらい、ゴールした参加者にプレゼントを進呈、こどもたちのおすすめの本を特設コーナーに展示	榴岡
榴岡にぎわいワークショップ「スノードームをつくろう！」	身近な材料を使って、親子でスノードームを作る (連携:生涯学習支援センター)	榴岡
夏休み宿題お助け隊	新聞の活用術、工作、読書感想文など、夏休みの宿題をサポート	若林
夏休みこども工作教室「草木染でオリジナルハンカチをつくろう！」 新規	草木染のお話を聞いたあと、藍染でオリジナルハンカチを作成 (共催:仙台市野草園)	榴岡
親子で学ぶ、楽しむeスポーツ 新規	eスポーツを介したデジタル機器、インターネットの利活用等、親子で情報リテラシーを学ぶ体験会	若林
本の世界に入ってみよう	合成撮影技術で本の世界に入る参加型イベント	若林
夏休み小学生工作教室	牛乳パックでくす玉作り	太白
大人も楽しめるこども向け楽しい落語会	東北大学学友会落語研究部によるこども向けの落語会	泉
夏のおたのしみ会 出前文庫in子供図書室	工作、折り紙、マジックショー、パネルシアター等 (共催:泉手をつなぐ文庫の会)	泉

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

施策(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます

【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】

市民センターの図書ボランティア養成を目的とした講座等に講師として職員を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。また、予約資料の受け取りや返却ができる窓口として中田市民センター内の中田サービススポット、せんだい 3.11 メモリアル交流館内の荒井サービススポットの運営を行った。

○主な実績

- ・分室（※寺岡、黒松、長命ヶ丘の各分室は改修工事期間中に伴い休館期間があった）
開設日数・延べ利用者数 685 日・25,286 人（令和 6 年度 686 日・22,648 人）
- ・中田サービススポット 開設日数・延利用者数 137 日・4,297 人（令和 6 年度 133 日・4,312 人）
- ・荒井サービススポット 開設日数・延利用者数 148 日・8,720 人（令和 6 年度 150 日・8,420 人）

○各館の主な事業

- ・市民センター主催の市民センター図書ボランティア向け講座・研修会に講師を派遣（市民・広瀬・榴岡・太白・泉）
（再掲）

【移動図書館の安定的なサービス】 **重点**

アウトリーチ事業として地域のイベント等に出展・参加し、多くの市民に移動図書館を知ってもらい、利用を体験してもらう機会を設けた。また、車両展示と併せて絵本の読み聞かせや本の貸出等を行い、図書に親しめる空間づくりに取り組んだ。

○主な実績

- ・移動図書館(77 カ所) 巡回日数・延利用者数 225 日・24,670 人（令和 6 年度 77 カ所・225 日・25,132 人）

○主な事業

事業内容	連携先
「おでかけ図書館～ジャッキーといっしょ！～」 新規 車両展示による移動図書館案内、貸出、ジャッキーのステージショー等	仙台PARCO、ララガーデン長町
「SENDAI SDGsWeek 2025」「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」「仙台PTA フェスティバル」出展、「将監児童センターまつり」出展 新規 車両展示による移動図書館案内・貸出等	仙台青年会議所、子ども若者局 子育て応援都市推進課、仙台市 PTA 協議会、将監児童センター
巡回先でのポスター掲示とチラシ設置による移動図書館案内	市民センター、児童センター

【電子図書館等オンラインサービスの推進】

せんだい電子図書館について、震災関連資料や地域の特色を生かしたコンテンツを用意するとともに、関連資料を探しやすくするレイアウト変更等の工夫をした。また、電子雑誌閲覧サービス、各課公所で作成した冊子やパンフレット等の行政資料の電子書籍化を継続的に行う等、サービスの向上に努めた。

学校での朝読書の活動等で電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与した。また、学習に資するコンテンツをグループウェアを通して紹介した。

○せんだい電子図書館の主な実績

	令和 6 年度	令和 7 年度
コンテンツ数(点)	4,183	4,271
ログイン数(点)	104,972	118,231
貸出数(点)	29,819	29,187
予約数(点)	6,852	7,955

- ・「TRC-DLマガジン」（電子雑誌閲覧サービス）ログイン数 9,211 回、タイトル数 319 タイトル

施策(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します

【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】

本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、全館で資料の充実を図った。また、高齢者の関心が高い分野をテーマとした資料展示やブックリストを配布する等、情報の提供を行うとともに、来館のきっかけとなるような講座を開催した。

○主な実績

- ・大活字本受入数 372 冊（令和 6 年度 328 冊）
- ・大活字本蔵書数 10,374 冊（令和 6 年度末 10,086 冊）

○各館の主な事業

事業内容	実施館
シニア世代向けの図書を集めたコーナーを常設	市民・若林・泉
東北大学病院広報室からの依頼により、広報誌「hesso(へっそ)」におすすめ本を掲載	市民
榴岡地域包括支援センターと連携した「出張おれんじドア」「知っていますか？身近な消費者被害」講座	榴岡
若林区文化センターと連携し、「デイサービスセンター作品展」連動企画事業において関連資料の展示	若林
シニア生活応援講座「フレイル予防講座&軽体操」を実施	若林
「大活字本受入リスト」作成・配布（再掲）	泉
シニア世代向け新着図書案内「シニアライフの充実は“図書館”から」の継続発行（再掲）	泉

【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】 **重点**

全館に拡大読書器、筆談ボード、耳マーク等を設置する等、障害のある方へ配慮するとともに、視覚に障害のある方へのデージー資料(録音図書)の貸出や、電子図書館では音声読み上げ機能付きの電子書籍を多く用意する等、読みづらさの解消へ配慮した。

また、心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を継続して実施したほか、視覚障害のある方へ朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。

○主な実績

- ・郵送貸出サービス 延利用者数、貸出数 4,835 人、10,752 冊・点（令和 6 年度 4,863 人、11,397 冊・点）
- ・朗読ボランティア「仙台音訳の会」による対面朗読サービス 利用件数 253 回（令和 6 年度 253 回）
- ・ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作への支援 拡大写本 1タイトル 4 分冊完成（宮城野）
- ・デージー資料(録音図書)の作成 144 点 累計 3,086 点（令和 6 年度 178 点 累計 2,942 点）(宮城野)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
手話で巡る図書館ツアー	各フロアや書庫等の見学、筆談ボードや災害時の案内プレート、郵送貸出サービス、電子図書館サービス等について紹介	市民
図書館はじめてツアー 新規	せんだいメディアテークと連携し、手話通訳つきで図書館の資料の紹介や館内案内を実施	市民
博物館・図書館連携講座「転生したらこうなった!？」(再掲)	仙台市博物館と連携し、手話通訳付きの講座を開催	市民
いろんな「読む」のカタチ展	せんだいメディアテークと連携し、生涯学習課主催の「きいて、みて、しって、見本市。」でバリアフリー資料やバリアフリー機器を展示	市民
出張おはなし会 新規	障害福祉サービス事業所「国見はげみホーム」での絵本の読み聞かせ・紙芝居・手あそび・本の閲覧	市民
出張読み聞かせ	認知症カフェ「カフェぬくもり」での大型絵本の読み聞かせ等 (主催:あやし地域包括支援センター)	広瀬

【国際化社会に対応したサービスの充実】

仙台市に在住している外国人の増加に対応するため、言語の違いにかかわらず図書館の利用を楽しめるように、外国語の本や絵本、児童洋書等の資料の充実を図った。

○主な実績

- ・外国語資料(一般洋書)受入数 70 冊 (令和 6 年度 61 冊)
- ・外国語資料(一般洋書)蔵書数 4,942 冊 (令和 6 年度末 4,974 冊)
- ・外国語絵本、児童洋書受入数 129 冊 (令和 6 年度 48 冊)
- ・外国語絵本、児童洋書蔵書数 8,046 冊 (令和 6 年度末 7,958 冊)
- ・外国人向け図書館利用案内(英語・中国語・韓国語)を配布 (全館)
- ・電子図書館の「外国語資料あんない」を作成・配布(再掲) (市民)

○各館の主な事業

事業名	事業内容	実施館
えいごによるおはなし会(再掲)	英語での絵本の読み聞かせ、英語の手遊び等	市民・ 広瀬・ 太白
えいご de おはなし会(再掲)		
パトリック先生の英語で楽しむおはなし会 新規		

施策(3) ICT 環境の進展等社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します

【電子媒体を活用した発信の強化／利用者のITリテラシーに合わせたサポートの強化】

オンラインおはなし会の開催や、Xや仙台市メール配信サービスを活用したイベント等の情報発信を行う等、電子媒体を活用した発信の強化に努めた。またYouTubeで利用方法を配信する等、電子図書館の利用促進に向けた取り組みを行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
電子雑誌閲覧サービスアクセス用の二次元コードや電子雑誌タイトル一覧を館内に配置	市民・泉
仙台市公式動画(YouTube)チャンネル「せんだい Tube」で「せんだい電子図書館のご利用案内」を3回に分けて配信(PART1 ログイン・貸出・返却編、PART2 資料検索編、PART3 予約編)	市民
「今月の電子雑誌リスト」として、せんだい電子閲覧サービスで閲覧可能なリストを作成し、電子図書館サイトで情報を発信	市民
「仙台防災未来フォーラム 2026」「きいて、みて、しって、見本市。」でせんだい電子図書館の体験会を実施(再掲)	市民
おうちで楽しむオンラインおはなし会を開催(再掲)	若林

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

施策(1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します

【計画的な資料の収集・保存・活用】

仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。また、除籍本の無償譲渡先として、小学校や保育施設、市民センターや文庫のほか、仙台出入国在留管理局、宮城刑務所に提供する等、資料の有効活用を図った。

○各館の分担収集分野

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○除籍本有効活用図書提供（再掲あり）

- ・一般書：市民センター・文庫等 11カ所・1,119冊（令和6年度 12カ所・1,762冊）
- ・児童書：小学校・保育所等 35カ所・2,343冊（令和6年度 36カ所・2,622冊）

【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】

仙台にゆかりのある作家の作品や東日本大震災関連本等、地域に根ざした資料の選定を行い、せんだい電子図書館のトップページに「3.11 震災文庫」「仙台郷土資料」等のバナーを設け、関連資料を探しやすく工夫する等、仙台らしさを意識した特色あるコンテンツづくりに努めた。

また、各課公所で作成した行政資料冊子やパンフレットを電子書籍として登録し、閲覧に供した。

○主な実績

- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 196点・126点（令和6年度末 167点・126点）（再掲）
行政資料 79点（令和6年度末 56点）（再掲）

施策(2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます

【市民協働事業や広報の促進】

利用者自らがおすすめ本を紹介したり、イベントに参画したりする等、市民参加型事業を行った。また、地元企業や市民団体等と連携し、図書館と地域の賑わいづくりに資する事業を行った。

Xを利用して、イベントの案内だけでなく開催後の報告を行う等、広報の推進を図った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
ひろせしやべぐるBOOKS（再掲）	独自のテーマやテーマ本を設定する読書会を開催し、「広瀬図書館まつり」において、読書会参加者が選書した資料の展示企画「読書会の本棚」を実施	広瀬
おすすめの本	こどもたちのおすすめ本を募り、「おすすめの本」としてこどもたちが書いた紹介文やイラスト等を資料と併せて展示	宮城野
推し本！（再掲）	利用者におすすめ本のアンケートを行い、展示及びブックリストの作成・配布	榴岡
ほんのトーク（再掲）	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽にしゃべりするトークイベントを開催	太白
ベガルタ仙台との連携事業	ベガルタ仙台ホームゲーム開催時のキッチンカー出店のための図書館敷地開放	泉

【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】

ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取組みを行った。また、各種ボランティアの養成講座を開催する等、市民の学びをサポートする人材の育成を行った。

○ボランティアや市民による主な活動（再掲あり）

内容	実施館
こども向け各種おはなし会、イベント	全館
小学校・中学校、児童館へのブックトーク	市民
図書資料の修理、配架作業等	市民(配架のみ)・広瀬(修理のみ)・宮城野・若林・太白(配架のみ)・泉
ボランティア懇談会、交流会、定例会の開催	市民・広瀬・宮城野・若林・太白・泉
大人向けおはなし会、イベント	市民・榴岡・若林・太白・泉
対面朗読	宮城野・若林・太白・泉
拡大写本制作	宮城野

○各種ボランティア養成講座等の実施

事業名	内容
ブックトークボランティア基礎講座 (全6回)	ブックトークに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講義・実習・発表等)
読み聞かせボランティア基礎講座 (全3回×2会場)	読み聞かせ講座を受けたことのない方を対象としたボランティア養成講座(講義)
乳児向け読み聞かせボランティア 養成講座(全2回)	読み聞かせの活動をしていて乳児向けの読み聞かせに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講義・実技)
読み聞かせボランティアステップ アップ講座(全4回)	小学校や児童館等で読み聞かせの活動をしている方を対象としたボランティアステップアップ講座(講義・実習等)
手袋人形・パネルシアター講座 (全1回×2会場)	小学校や児童館等で読み聞かせの活動をしている方を対象とした、おはなし会にも役立つ手袋人形やパネルシアターの演技方を学ぶ講座
ストーリーテリング講座(全3回)	ストーリーテリングを学んでみたい方を対象としたボランティア養成講座(講義・実習・実演)
対面朗読ボランティアスキルアップ 講座(全2回)	音訳ボランティアを対象としたスキルアップ講座(テーマ:音訳者のための調査・校正ワークショップ)
読み聞かせボランティアステップ アップ講座(全5回)	地域や学校等で読み聞かせの活動をしている方を対象としたボランティアステップアップ講座(講義・実演等)(若林)
ボランティア活動説明会(計5回)	配架・書架整理ボランティアの説明会と希望者の登録(泉)

施策(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します

【安定的なサービス提供のための課題解決】重点

公共図書館として安定的なサービスを提供するため、仙台市図書館協議会において、仙台市図書館の運営についての様々なご意見をいただいた。また、仙台市公共施設総合マネジメントプランに基づく広瀬図書館の大規模改修工事設計を行った。

次期図書館システム刷新に向けた調査・検討を行った。

○主な実績

- ・図書館協議会 開催回数4回(令和7年5月、8月、11月、令和8年2月)

【来館型・非来館型サービスの適正な運用】

図書館に来館しなくても、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができる「せんだい電子図書館」の運営や電子雑誌閲覧サービスを提供する等、非来館型サービスの充実を図った。

○主な実績

- ・「TRC-DL マガジン」(電子雑誌閲覧サービス) ログイン数 9,211 回、タイトル数 319 タイトル(再掲)

【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

広告料収入を資料費に充てるため、雑誌スポンサー事業を継続して実施した。また、図書館資源を適正に配分するため、これまで直営館であった宮城野図書館に新たに指定管理制度を導入するための選定を行い、指定管理者を決定、令和 8 年度に向けた引継ぎを行った。

○主な実績

- ・雑誌スポンサー広告事業(広瀬・若林・泉)参加企業 2 社 (令和 6 年度 2 社)

施策(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います

【通知的成果指標の図書館サービス向上への活用】 **重点**

仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について、点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、ホームページで市民に公表した。また、「仙台市図書館振興計画 2022」の中間見直しを行った。

指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を継続して実施し、ホームページ上で公表した。

【市民による評価や意見の活用】

市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館運営を行うため、利用者へのアンケートや利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。また、利用者の意見を聞く機会として、全館に意見箱を常設し、意見と回答の掲示を行うとともに、可能な改善を行った。

○主な取り組み

- ・ご意見箱の設置 (全館)
- ・窓口サービスアンケートの実施 (市民・宮城野・太白・泉)
- ・利用者アンケートの実施 (広瀬・榴岡・若林)
- ・利用者懇談会の実施 (全館)

施策(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます

【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の地域や技術・経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】 **重点**

国立国会図書館等の専門機関、関連機関等が実施する研修に参加したほか、全館職員を対象とした市民図書館主催の集合研修や、各館及び指定管理者主催の職員研修を実施する等、職員の資質と専門性の向上を図り、市民の活動の場を支える職員の育成を行った。

○主な研修実績

- ・国立国会図書館主催 レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方ー基礎編ー」(広瀬)
- ・国立国会図書館主催 レファレンスサービス研修「人文情報の調べ方ー応用編ー」(市民・泉)
- ・国立国会図書館国際こども図書館主催 児童文学連続講座 (宮城野・榴岡)
- ・図書館地区別(北日本)研修(市民・泉)
- ・株式会社未来の図書館研究所主催 シンポジウム「図書館とWebサイト」(市民・若林)
- ・公益社団法人日本図書館協会主催 全国公共図書館研究集会 (児童・青少年部門)(市民・広瀬・榴岡)
- ・公益財団法人伊藤忠記念財団主催 特別研修「読書バリアフリーをすすめるために」(市民・宮城野・榴岡)
- ・宮城県図書館主催 公共図書館等職員研修会 (全館)

- ・(株)図書館流通センター主催 TRC マーク活用セミナー (市民・若林)
- ・文部科学省主催 新任図書館長研修(広瀬)
- ・公益財団法人仙台市健康福祉事業団介護研修室主催 介護講座「認知症を知る」(広瀬)
- ・東北学院大学図書館主催 「生成 AI はレファレンス業務を奪うのか～レファレンス業務での AI 活用」
(市民・広瀬・榴岡)
- ・東北学院大学図書館主催「AI によって図書館業務はどう変わるのか～レファレンスサービスに関して～」(市民)
- ・北日本図書館連盟主催 北日本図書館大会秋田大会(広瀬・泉)
- ・東北大学主催 東日本大震災アーカイブシンポジウム(若林)
- ・国立映画アーカイブ主催 全国映画資料アーカイブサミット(若林)
- ・(株)図書館流通センター主催 ブックフェアセミナー(若林)
- ・生涯学習支援センター主催 社会教育施設職員向け研修 (市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉)
- ・市民図書館主催 全館向け研修 「新任職員、ブックトーク、レファレンス、クレーム・ハラスメント、コミュニケーション、
図書館概論、情報発信、ブックトークスキルアップ」(全館)
- ・各図書館主催 館内研修 「新任職員、接遇、システム障害時対応、危機管理、著作権、レファレンス、個人情報保護、
多文化共生・やさしい日本語等」

◆◆総括◆◆

令和7年度は、広瀬図書館の5期目の指定管理者を選定したほか、令和8年度の宮城野図書館への新たな指定管理者制度導入や直営館の機能強化に向けて準備を行い、指定管理館と直営館が、民間のノウハウや専門性を生かした図書館運営と重点的な行政課題への対応という各々の役割を果たすことで相乗効果を発揮し、図書館サービス全体を推進する体制とした。これにより図書館のあり方の検討は完了となった。

また、「仙台市図書館振興計画2022」（計画期間：令和4年度～令和10年度）について、令和7年度は計画期間の中間年度にあたることから、令和4年度以降3年間の取組みに対する自己評価や市民へのアンケートにより把握した課題やニーズ等を踏まえ、今後3年間に仙台市図書館として推進する取組みをまとめ直すなど見直しを行い、令和8年3月に改訂した。

利用状況については、個人利用者数及び個人貸出数ともに前年度を上回ったほか、せんだい電子図書館のコンテンツ数やログイン数も増加し、来館型・非来館型の双方において利用の拡大が見られた。また、生涯学習を支える基盤として、下記「方向性2」や「方向性3」に記載のとおり「こどもの読書活動」や「あらゆる人に使いやすい図書館サービス」のさらなる推進に向けた取組みを行った。

方向性1

関係機関や各種団体との連携を進め、健康、防災、創業支援、法律相談など市民生活に身近なテーマに関する講座や展示を行うとともに、本市の博物館や歴史民俗資料館、東北農政局などの専門機関や多様な教育機関・施設との連携により、地域の歴史や文化、社会的課題について学ぶ機会を提供するなど、市民の幅広い学習活動や課題解決を支援する取組みを実施した。また、郷土史講座やまち歩き事業、地域アーカイブ事業等を通じて、地域の歴史や魅力の発掘・継承・発信に取り組んだ。

東日本大震災に関する資料の収集・保存・提供に継続して取り組み、各館の震災関連コーナーの充実を図るとともに、防災未来フォーラムでは電子図書館の「3.11 震災文庫」を活用した電子書籍体験会を実施した。また、収蔵資料の展示や広報誌等による情報発信を通じて、震災の記録と教訓の継承に努めた。

方向性2

重点的に取り組む絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあい事業（「各種おはなし会」「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」など）は、ボランティア団体や子育て関連施設の協力により実施回数と参加人数は前年度実績を上回った。また、読み聞かせの体験と絵本をセットでプレゼントする「はじめての絵本事業」の令和8年度からの新規実施に向けて検討を進め、事業費の予算化を行った。

中学生・高校生世代への取組みでは、公募で集まった中高生が「仙台市中高生読書盛り上げ隊」として、本への熱い思いや同世代に読書の楽しさを伝えるための様々なアイディアについて話し合いながら、情報発信やイベントの企画運営を主体的に行う事業を実施した。また、複数の図書館において、開放可能な施設を学習スペースとして提供するなど中高生の学習を目的とした居場所づくりに取り組み、新たな利用者の獲得に寄与した。さらに、学校連携事業に継続して取り組んだほか、特別支援学校・学級向け貸出サービスの充実や手話を活用したおはなし会の実施など、こどもの読書環境と学習環境の向上に取り組んだ。

方向性3

あらゆる人に使いやすい図書館サービスの啓発の一環として、移動図書館車を活用したイベント「おでかけ図書館～ジャッキーといっしょ！～」を商業施設で実施したほか、本市のイベントや児童センターに出向いての車両展示及び市民センターや児童館へのチラシ配架等、移動図書館の周知に努めた。

電子図書館のコンテンツの充実や学校向け特別利用ID付与数の増等、オンラインサービスの利用促進を図るとともに、超高齢社会に即した資料展示や講座の開催、大活字本の収集、障害のある方への郵送貸出や手話通訳付き「図書館はじめてツアー」の実施、多文化共生に対応した外国語資料の収集や英語でのおはなし会の実施など、年齢や障害の有無、言語の違いに関わらず利用しやすい図書館づくりを進めた。

方向性4

計画的な資料収集・保存を行うとともに、電子図書館では仙台にゆかりのある作家の作品や東日本大震災関連本等特色あるコンテンツの充実を図った。また、読み聞かせ等様々なボランティアや家庭文庫・地域文庫等の地域団体との協働による事業を継続して実施した。

図書館運営においては、図書館協議会からの意見や利用者アンケート等を活用しながらサービス改善に努めたほか、各種専門研修や全館向け研修を通じて職員の資質と専門性の向上を図った。デジタル化の進展や読書バリアフリー、多文化共生など社会環境の変化に対応しながら、図書館サービスの向上と持続可能な運営に取り組んだ。

令和8年度は、市民一人ひとりの学びと読書活動を支える基盤施設として、多様化するニーズや社会環境の変化を踏まえながら、来館型・非来館型双方のサービスのさらなる充実を図り、地域や市民に役立ち、ともに成長を続ける図書館の実現を目指して取り組みを進めていく。

◆◆仙台市図書館協議会の意見◆◆

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために
- 各館様々な事業をされているが、榴岡図書館のブックトレードは、時代に合った取組みだと思う。 - 図書館工事にかかる休館中は、事業を行ってもなかなか市民に届かないとか、これまで本に親しんでいたのに図書館を利用する期間が空くことによって本から離れてしまうこともあると思う。せっかく良い施策を展開しているのだから、次の広瀬図書館の改修工事の際は、移動図書館や電子図書館をうまく活用して、利用者を減らさないための対策はできないか。
方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために
- 図書館サポーターや図書委員会など中高生が主体的に図書館運営に参画できる企画が多く、こどもたちに向けた働きかけが多種多様ですばらしい。 - 以前から、若い世代の図書を通したコミュニティーができればいいという話をしていたが、それがだんだん実現してきている姿が見えてとてもうれしい。 - 図書館が遠い、忙しくて参加できない企画を考えていただけないか。 - 小学1年生に配付して読む本が読んで親が図書館へ来ると、自分も読みたいものがあると、自分も来たいという気持ちになる。 「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」の会場に登録コーナーがあれば、0歳から利用者カードが作成できることを知ってもらえる機会になる。 0歳から利用できることをもっと啓発していくことが大切だ。まず、保護者に知ってもらい意識付けをすることで、こどもたちが自分で本を選べる年齢になれば興味を持って図書館を利用することができるようになると思う。いろいろな場で全年齢に対して啓発していくことが大切だ。
方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために
- 電子図書館サービスの大きな特徴は非来館型サービスであることがあげられる。読書バリアフリーにもつながり、いずれ読み上げ機能が一般的になれば、強固なコンテンツになってくるはずだ。仙台市図書館は電子図書館サービスを割と早めに導入したということは、大きく評価したい。 - 自治体で作成している様々な資料等を一つ一つ電子化していき、データベースにしていって大きな1つのデータベースや大きなアーカイブになり、それを求める新たな利用者が出てくるので、そういう利用者を取り込んでいくのも有効だと思う。始まって10年経たないぐらいなので、利用者が伸びないことをあまり悲観的に捉えなくてもいいのではないかな。 - 図書館へのアクセスのよくない地域に住んでいる方も多くいる。特にこどもは自分で移動するのは難しいので、まずは電子図書館を利用し、市内各地の図書館に行けるようになったらその図書館を利用するという接続が生まれるといい。
方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために
- 図書館ごとに分野を決めて分担収集をしていること、市内の図書館を1つの図書館として資料を共有し、所蔵している図書館から利用者の受け取り希望の図書館へ資料を毎日配送していることがわかった。仙台市図書館は市民サービスとして大変優れていると思う。物流のことは市民の方々には見えないがインフラとして重要なところなので、そのあたりを市民の方々に周知すると、各館の特色も知ることができて、より資料が活用されるのではないかな。 - ボランティア養成講座は、読み聞かせやわらべうた、ストーリーテリングと様々な講座があり、それが無料で受講することができて、勉強ができるというのは市民にとって有益なことだ。私も自分のスキルアップのために何年かごとに受講しているが、楽しみにしているので、ぜひ今後も継続して実施するようお願いしたい。

令和8年9月の図書館協議会でいただいたご意見を反映させます